

日本私立大学団体連合会・日本私立短期大学協会主催

## 東日本大震災復興シンポジウム2014（東京大会）

被災地東北の復興と新たな日本の創生に向けて

〔開催要項〕

### ・開催趣旨

東日本大震災から4年目を迎えた今日、その爪痕は被災地域だけでなく、わが国全体に大きな歪みを生じております。被災地域の一日も早い復興を願うとともに、被災地域の復興はわが国が長期的に目指すべき社会構造を見据えた21世紀の日本の再生モデルとなることが期待されています。

こうした問題意識に立脚し、日本私立大学団体連合会・日本私立短期大学協会では、これまで3年間被災地である宮城（仙台）、福島（郡山）、岩手（盛岡）においてシンポジウムを開催してきました（別紙参照）。今回のシンポジウムでは、そうした成果を踏まえ、被災学生や被災大学に対する支援の取組みを決して風化させることなく継承するとともに、被災地東北の復興と新たな日本の創生に向けた方策等に焦点をあてることとしています。

### ・開催日時・会場等

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 日 時  | 平成26年8月8日（金） 午後1時～4時30分                          |
| (2) 会 場  | アルカディア市ヶ谷（私学会館）<br>所在地：東京都千代田区九段北4-2-25          |
| (3) 参加対象 | どなたでも参加いただけます。<br>主催団体に加盟する大学・短期大学の関係者をはじめ教育関係者等 |
| (4) 参加費  | 無 料  |
| (5) 申込期限 | 平成26年7月31日（木）                                    |

### ・開催テーマ

東日本大震災を超えて：大学のなすべきこと、できること  
教育の復興なくして地域の復興と国の再生なし

## ．プログラム（予定）

13:00～13:05（5）開会あいさつ

- ・大沼 淳（日本私立大学団体連合会副会長、文化学園大学理事長・学長）

13:05～13:10（5）主催者あいさつ

- ・清家 篤（日本私立大学団体連合会会長、慶應義塾長）

13:10～13:25（15）来賓あいさつ

- ・文部科学省関係者

13:25～13:55（30）特別講演

演題「安心・安全な教育環境を求めて 福島が抱える現状と課題」（仮題）

- ・関口 修（郡山女子大学短期大学部理事長・学長、日本私立短期大学協会会長）

13:55～14:10（15）休憩

14:10～16:00（110）シンポジウム

テーマ「被災地東北の復興と新たな日本の創生に向けて

この3年間の取組みと今後の課題」（仮題）

コーディネーター

- ・日高 義博氏（専修大学理事長）

シンポジスト

- ・常盤 豊氏（文部科学省高等教育局私学部長）
- ・沢田 康次氏（復興大学設立時代代表・復興大学コーディネーター、東北工業大学元学長）
- ・笠井 宏朗氏（北里大学感染制御研究機構釜石研究所部長）古矢 鉄矢氏（同大学学長補佐）
- ・河田 恵昭氏（関西大学社会安全学部教授、社会安全研究センター長）

16:00～16:20（20）フロアーとの意見交換

16:20～16:25（5）大会宣言

- ・黒田 壽二（日本私立大学団体連合会副会長、金沢工業大学学園長・総長）

16:30 閉会

## ．参加申し込み方法

別紙「参加申込書」またはEメールにより、下記の事務局（お問い合わせ先）あてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

申込期限：平成26年7月31日（木）

## ・お問い合わせ先

日本私立大学団体連合会 事務局（担当：島田）

電話：03 - 3221 - 7686 FAX：03 - 3221 - 7757

日本私立短期大学協会 事務局（担当：本間）

電話：03 - 3261 - 9055 FAX：03 - 3263 - 6950

## ・会場案内

会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）3階 「富士」

所在地：〒102-0073 東京都千代田区九段北4 - 2 - 25

電話：03 - 3261 - 9921 FAX：03 - 3263 - 9931

## 【交通のご案内】

地下鉄：有楽町線・南北線「市ヶ谷駅」(A1出口)下車 徒歩2分

地下鉄：新宿線「市ヶ谷駅」(A1またはA4出口)下車 徒歩2分

JR中央線（各駅停車）「市ヶ谷駅」下車 徒歩2分

